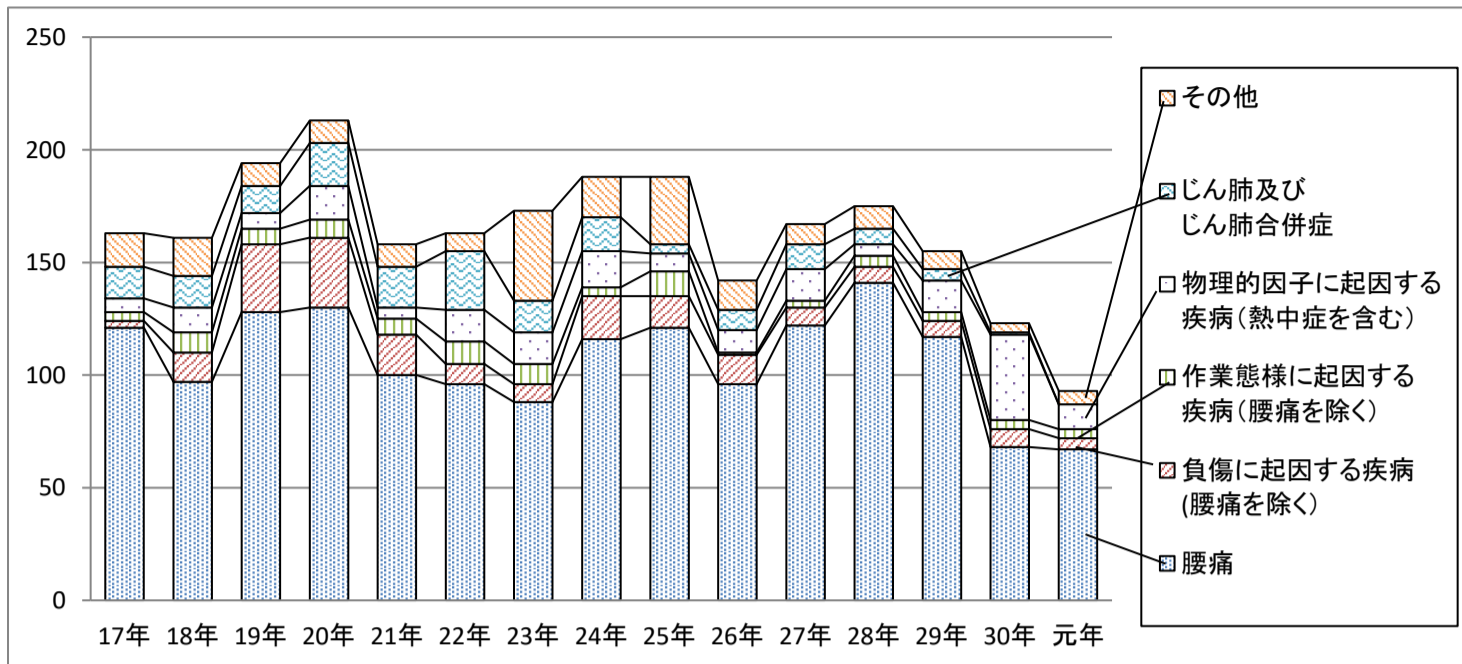
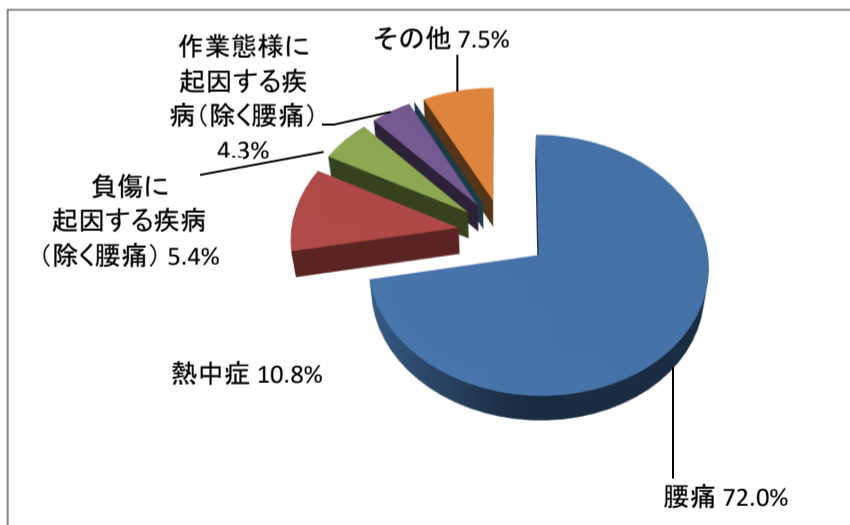


# 1. 業務上疾病年別推移



	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
腰痛	121	97	128	130	100	96	88	116	121	96	122	141	117	68	67
負傷に起因する疾病 (腰痛を除く)	3	13	30	31	18	9	8	19	14	13	8	7	7	8	5
作業態様に起因する疾病 (腰痛を除く)	4	9	7	8	7	10	9	4	11	1	3	5	4	4	4
物理的因子に起因する 疾病(熱中症を含む)	6	11	7	15	5	14	14	16	8	10	14	5	14	38	11
じん肺及びじん肺合併症	14	14	12	19	18	26	14	15	4	9	11	7	5	1	0
その他	15	17	10	10	10	8	40	18	30	13	9	10	8	4	6
<b>疾病総数</b>	<b>163</b>	<b>161</b>	<b>194</b>	<b>213</b>	<b>158</b>	<b>163</b>	<b>173</b>	<b>188</b>	<b>188</b>	<b>142</b>	<b>167</b>	<b>175</b>	<b>155</b>	<b>123</b>	<b>93</b>

## 令和元年 疾病種類別比率



	疾病者数	構成比・%
腰痛	67	72.0%
熱中症	10	10.8%
じん肺及び じん肺合併症	0	0.0%
負傷に起因する疾病 (除く腰痛)	5	5.4%
作業態様に起因する 疾病(除く腰痛)	4	4.3%
その他	7	7.5%
合計	93	100%

1. 近年の業務上疾病の発生状況は、平成20年の年間213人をピークとし、その後は増減を繰り返しながら減少傾向を示している。
2. 令和元年に発生した疾病の種類別にみると、腰痛が67件(72.0%)と最も多く、次いで熱中症が10件(10.8%)、負傷に起因する疾病(除く腰痛)が5件(5.4%)となっている。
3. 腰痛については、平成29年まで100件前後の件数で推移していたところ、平成30年は68件、令和元年は67件と減少している。